

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成21年7月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.79

高千穂町で県観光審議会開催



高千穂町岩戸「神楽の館」で行われた県観光審議会委員と地元観光関係者との意見交換

7月15日に高千穂町で県観光審議会が開催されました。

県では、今年度、県内各地の観光地について現状と課題を分析する観光地総点検を実施することとしており、県観光審議会委員が高千穂峡、高千穂神社～鬼八塚の街中散策スポット、高千穂駅を視察しました。

視察後は、同町岩戸の「神楽の館」に移動し、審議会を開催した後、地元高千穂町の観光関係者と今後の高千穂町の観光地づくりについて意見交換し、高千穂町の観光について様々な提言が行われました。

日之影町で「いきいき集落」認定証交付式

7月23日に日之影町研修館で「いきいき集落」の認定証交付式が行われました。

「いきいき集落」は、集落の活性化について、集落住民自らが考え、行動するという意識の醸成を図るとともに、住民の主体的で意欲的な集落づくりを促進するため、元気な集落づくりに取り組む集落を県が認定するものです。県内15市町村67集落（平成21年7月28日現在）が認定されています。

日之影町では12集落が認定されており、認定証交付式には、伝統文化の継承やイベントの開催等に取り組む同町内の「いきいき集落」の代表者が出席し、日高県民政策部次長から認定証とのぼり旗が授与されました。



- 日之影町内の
いきいき集落
(12集落)
- ・椎谷地区
 - ・深角集落
 - ・長谷川地区
 - ・戸川集落
 - ・八戸地区
 - ・中川集落
 - ・鹿川集落
 - ・松の木地区
 - ・大人集落
 - ・下小原集落
 - ・興地集落
 - ・見立地区

いきいき集落に認定された地区の皆さん達と記念撮影

いきいき集落の取組

西臼杵管内では、高千穂町11集落、日之影町12集落、五ヶ瀬町5集落の計28集落が、「いきいき集落」に認定されており、各集落では、様々な取組が行われています。

高千穂町の下川登集落では、地域で話し合いをかさね、7月に二つの行事を開催しました。

一つは、「さのぼり祭」を7月5日に開催しました。「さのぼり祭」は、田植えの慰労と五穀豊穡を祈願して行われたもので、女性部の手作り料理が準備された会場で、神楽や手作りのファッションショーが披露され、大いに賑わいました。

もう一つは、7月18日に開催した「しもかわ朝市」で、下川登公民館駐車場に集落の生産者が新鮮な朝採れ野菜などを持ち寄り、販売を行いました。

どちらも今年から始めた取組ですが、役員の方を中心にいきいきとした活動が行われています。

「しもかわ朝市」は、今後も定期的に月1回の開催予定で、交流をとおして集落の活性化が期待されます。



「さのぼり祭」のファッションショー



「しもかわ朝市」

神話の里高千穂町で天岩戸日食祭

7月22日、高千穂町岩戸の「神楽の館」で天岩戸日食祭が開催されました。地元岩戸の五ヶ村村おこしグループが、天照大神（あまてらすおおみかみ）がお隠れになった天岩戸神話になぞらえて企画したものです。

当日は、前日から降り続く雨というあいにくの天候でしたが、日食祭が始まった午前10時すぎには、降っていた雨も上がり、雲の切れ間から日食の欠けた太陽が見え始め、参加者から歓声が上がりました。

「神楽の館」内では、天岩戸神話を題材とした手作りの紙芝居の上演に続き、日食が最大になる午前11時近くから岩戸地区神楽保存会による岩戸神楽の4番「手力男（たぢからお）」、「細女（うずめ）」、「戸取り（ととり）」、「御神体（ごしんたい）」が奉納されました。



岩戸地区神楽保存会による神楽の奉納



日食を観察する参加者の皆さん



神楽料理を楽しむ参加者の皆さん

日之影町で夏休み料理教室が開催されました

7月28日に日之影町保健センターで、夏休み親子料理教室が開催されました。これは、西臼杵地区の学校教育研究会栄養教諭・学校栄養職員部会が、日之影町の小学生とその保護者を対象に開催したものです。当日は約30名の参加があり、栄養教諭の先生方の指導を受けながら、地元の食材を使って、チキン南蛮やフルーツパフェなど楽しく調理を行いました。

また、試食後には、西臼杵支庁農業普及課から栄養や地産地消についての話や、釜炒り茶と煎茶の飲み比べも行われました。参加した子どもたちからは、「おいしかった!」「家でもまた作ってみたい」という声があがっていました。



みんなで楽しく料理しました

高千穂地区焼酎粕飼料利用研修会

7月14日に高千穂家畜市場において、高千穂地区農業協同組合及び西臼杵郡畜産技術員協会の共催で、高千穂地区焼酎粕飼料利用研修会が開催されました。

西臼杵支庁及び畜産試験場からは、高千穂酒造株式会社をはじめ、32名の生産者を対象に、焼酎粕を肉用牛に給与する場合の注意点や焼酎粕給与に必要な資材の購入のための補助事業について紹介しました。

飼料価格が高騰し、肉用牛の相場が低迷している情勢ではありますが、焼酎粕を飼料として給与することによって、肉用牛経営の低コスト化につながるものと考えています。



焼酎粕の飼料利用についての説明風景

県営林監視人感謝状の伝達式

五ヶ瀬町在住の田崎隆氏は、県営林監視人として昭和58年から26年にわたりその職務に精励され、県営林の保護管理に尽くされました。

在任中の御努力に対する知事からの感謝状が7月7日に内炉保支庁長より田崎隆氏に伝達されました。



支庁長から感謝状の伝達を受ける田崎隆氏

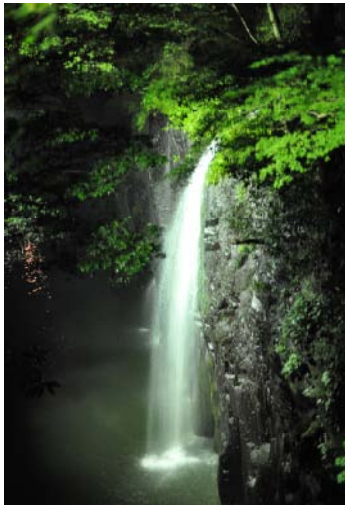
高千穂峡「真名井の滝」をライトアップ

日本の滝100選に選ばれている高千穂町の高千穂峡の真名井の滝では夜間ライトアップが行われています。

今年は初めて竹灯籠が遊歩道に設置され、暖かい光が足もとを照らし、見物客をやさしく迎えてくれます。

夜の静寂にライトアップされた真名井の滝と柱状節理が浮かび上がり、幻想的で涼しげな光景が広がっています。

ライトアップと竹灯籠は、9月6日までの間、日没から午後10時まで点灯されます。



ライトアップされた「真名井の滝」

労働交通安全推進大会

7月3日、高千穂地区建設業協会（竹尾通洋会長、47社）の労働交通安全推進大会が高千穂町三田井の高千穂建設会館で行われました。

会員約90人が出席して労働安全と無事故・無違反を誓いました。



大会の様子

第3回がまだせ日之影町農林業振興大会

がまだせ日之影町農林業振興大会が7月17日に日之影町民センターにおいて、町内の農林業者、関係機関・団体の職員など約140名が参加し、盛大に開催されました。本大会は、日之影町の農林業の更なる振興と活力ある若者の定住のための土壌づくりを目的に開催されており、今年で3回目を迎えました。

意見発表の部では、「果樹」、「椎茸」、「花き」、「葉たばこ」、「畜産」部門の代表5名が、それぞれの取組について、時おり笑いを混じえながら発表され、参加者は熱心に聴き入っていました。

今回は、新畑で葉たばこを生産している藤原洋子さんが初の女性発表者として登壇し、家族経営協定を締結し、配偶者が家事を手伝ってくれるようになったことや、農村における後継者の未婚問題など女性ならではの視点から意見を発表されました。

その他に松田博喜さん（果樹・松の内）、甲斐信宏さん（椎茸・乙女）、新名安幸さん（花き・大平）、平田福德さん（畜産・平清水）が意見を発表されました。



大会の様子

編集後記

高千穂町で開催された県観光審議会で高千穂町の観光について様々な意見を伺いました。「夜の仕掛けが少ない。」「町が寂しい。」「歩かせる仕組みがない。」といった足りない部分の指摘があった反面、「神話、歴史、自然が素晴らしい。」「おせったいの文化が素晴らしい。」「鬼八伝説など素材が多い。」といった意見を多く聞くことができました。このことは、高千穂町の観光はまだまだ伸びる可能性を秘めていることを表していると思います。これからの取組が楽しみです。 博

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html